

## プラント状況確認結果(平成28年2月23日～平成28年3月1日)

平成28年3月1日  
福島県原子力安全対策課

- 平成28年2月23日～平成28年3月1日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

### (1) プラント状況(3月1日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 <sup>※2</sup>
原子炉 <sup>※1</sup> (核燃料)	冷却	注水量 (m <sup>3</sup> /h)	4.5	4.4	4.7	—
		圧力容器 下部温度(°C)	14.5	19.3	17.1	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 <sup>※3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )(A系)	7.8×10 <sup>-4</sup>	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.00	0.02	0.07	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	13.4	23.6	20.5	9.2

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm<sup>3</sup>以下である。

### (2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(3月1日午前10時)

最小 0.698(MP-6)～最大 2.643(MP-3) マイクロシーベルト/時 ⇒[計測地点の地図](#)

### (3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(2月29日採取分)

最小 検出限界値未満(6号機取水口前海水、港湾口) Bq/ℓ  
～ 最大 1.3(1～4号機取水口内北側海水) Bq/ℓ

### (4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(2月29日採取分)

5,6号機放水口北側に30m: 検出限界地未満 ※検出限界値は約0.68 Bq/ℓ  
1～4号機放水口から南側に1.3km: 検出限界地未満 ※検出限界値は約0.64 Bq/ℓ

### (5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(2月29日採取分)

西門: 検出限界未満 ※検出限界値は約1×10<sup>-7</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

### (6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(2月29日採取分)

最小 検出限界未満(4号機)～最大 150(2号機) Bq/ℓ